〔科目名〕	〔単位数〕	〔科目区分〕
卒業研究	4単位	卒業研究科目
〔担当者〕 山本　俊		〔授業の方法〕 演習

〔演習テーマ〕

金融に関する研究

〔演習内容〕

金融に関連する理論や制度、政策、さらには地域金融機関及びその営業地盤等について、受講者が関心のあるテーマを選択し、それらの課題や対策などを、これまでに学修した分析方法をもとに研究する。

〔科目の到達目標〕

・金融に関する経済分析の方法に親しみ、PC を用いて実践できるようになること。

・卒業論文を完成させること。

〔ディプロマ・ポリシー（DP）との関係〕

学部				学科		
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3
○	○		○	○		○

〔前提条件〕 特になし。

ただし、不足する知識や技能があれば（演習内でも補足はするものの）積極的に補う姿勢があること。

〔学修の課題、評価の方法〕（テスト、レポート等）

①中間報告会での報告内容及び質疑応答：30％

②卒業論文の完成の程度：70％

・問題意識は明確か。

・問題意識に応えるために必要な分析がなされているか。

・先行研究を踏まえているか。

・卒業論文として適切な体裁が整っているか。

〔教科書等〕

特に使用はしません。各学生に必要な文献等を適宜示します。

〔実務経歴〕 特になし

授業スケジュール

時期	テーマと内容	
1－5 回	・関心のあるテーマの選定 ・論文執筆確認シートを用いた体裁や構成の確認 ・関心のあるテーマに関する基本的な文献の探索（教員との相談） ・関心のあるテーマに関して、考察を深める範囲を限定し、分析対象を絞る（教員との相談）	
6－10 回	・基本的な文献の要約、報告（1 巡目）	・考察を深めるのに必要な分析方法の学修 割引現在価値法や内部収益率法、回帰分析、フロンティア分析、産業連関分析など必要なもの
11－15 回	・基本的な文献の要約、報告（2 巡目） 問の設定（教員との相談）	
	夏休み期間を活用した「問いに対する答えへの接近」（適宜、各人のペースで！）	
16－18 回	・問に対する答えの報告 ・中間報告会の実施、質疑応答 ・論文執筆確認シートを用いた体裁や構成の再確認	
22－30 回	・論文執筆・論文の推敲（教員との相談） ・質疑応答を通じたブラッシュアップ（教員との相談）	